

最優秀賞

小松 隼人

株式会社 小松隼人建築設計事務所

【作品名】
岩国の家

設計 施工 株式会社 小松隼人建築設計事務所

工 キリン木材株式会社

竣工日 2018年3月12日

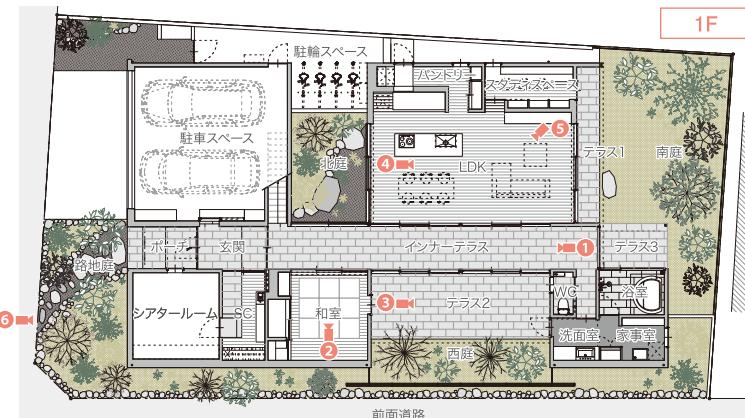
◎建物概要

建設地 山口県岩国市 延床面積 256.06m²
敷地面積 390.02m² 構造・規模 木造2階建

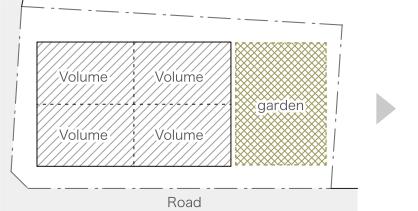
◎設備面の特記

厨房機器	ガスコンロ
給湯機器	ガス給湯器
冷暖房機器	エアコン 床暖房(ヒートポンプ式)

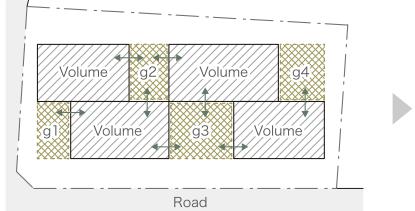
平面図



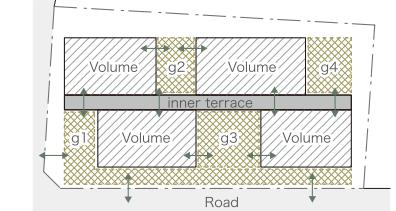
4つの庭



敷地にゆとりがあるため南側に大きく庭をつくることも考えられるが、諸室と庭との関わりに偏りができる。



4つの棟に分け、4つの棟それぞれに特徴ある4つの庭を配置。棟と庭が市松状に連続する空間が生まれた。



廊下を南北に通すことで、4つの棟それぞれが4つの庭と密接な関係をもつ。さらに庭にゆとりをもたすことで、季節によって景色を変えるインナーテラスを生みだした。

設計コンセプト

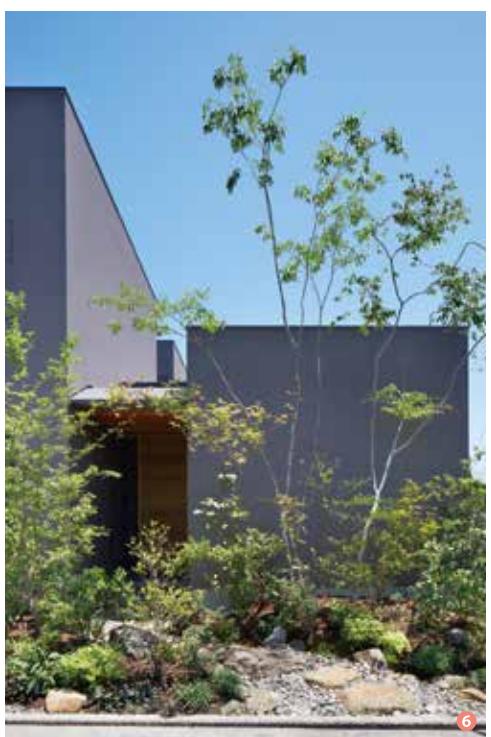
山口県岩国市の中心部に位置する閑静な住宅地。敷地西側は多くの参拝客が訪れる神社が建ち、遠景に望む山並みも美しいため、この方位に建物を開放したい。その一方で、様々な視線の交錯があること、さらに西からの強い日差しに配慮する必要があった。建主の「緑を眺めながら開放的に生活したい」という要望も併せて、周辺環境と建築の多様なつながりを計画。敷地の大きさから判断すると南側に大きく庭をつくることも考えられるが、諸室と庭との関わりに偏りができるため、まず採光、通風、周辺建物といった条件を考慮しながら建物を4つの棟に分けた。併行して4つの棟に「隣地との距離をとったゆとりある南庭」「堀に守られた西庭」「間接光を取り込み、通風を促す北庭」「道路に開かれた路地庭」といった特徴ある4つの庭を

審査委員講評

棟とのつながりを考慮しながら配置。結果として棟と庭が市松状に連続していく、様々な視線から庭とのつながりが生まれた。さらに棟と庭をつなぐ廊下を南北に通すことで、日常の移動が4つの庭との密接な関係を持ち、幅にゆとりを与えることで外部テラスとひと続きとなる使われ方や、家具を配置して居室の延長として使われるといった、様々な行為を生み出すインナーテラスとの役割を果たしている。道路に開かれた路地庭を西側接道面まで広げることにより、個の庭であることを超えて、周辺環境へ開かれた庭としてコミュニティを誘発している。建物の建った余白に庭をつくるのではなく、建物と庭を等価に扱いながら計画したことが、この住宅の豊かさにつながったと考える。



①②堀に守られた西庭と、間接光を室内に取り込み通風を促す北庭。開口部はアルミサッシでかつLow-Eペアガラスを採用し、床下には第一種熱交換型換気システムを設置。各居室の床面に設定された給気口を通して空気循環を促しており、この空気循環を利用して、冷暖房も少数のエアコンで各居室に送り込むことができる。省エネ効果も期待できる。
③西庭はインナーテラスと一体的に利用することができる。
④ダイニングから眺める隣地との距離をとった南庭。調理中や食事中も、庭を望むことができる。



⑤居室ごとに空調をコントロールできるよう、ガラス框引き戸をインナーテラスとの境界に配置。またインナーテラスは、冬季は外部と内部の中間領域となる風除室として、夏季は引き戸を開放することで居室に風を通す土間空間のような機能を持たせている。
⑥北道路に面する路地庭は西道路までL字に広げることで、個の住宅の庭であることを超えて周辺環境へ開かれた庭となる。